



2022 年度  
第 15 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
引継ぎ委  
学生選手欠席  
規制緩和…  
エリート体育轉換ではない



2  
体育公約  
小学生スポーツ講師拡大  
の質的向上が必要だ



3  
光州体育会  
スポーツ科学研究所  
体育人遺伝子分析・活用



4  
体育記者連盟  
新政府スポーツ政策  
セミナー  
18 日開催



5  
チキンとビールで叫べ！  
25 日から  
室内体育施設で  
飲食可能



大韓民国スポーツの  
根本的變化を  
皆さんと共に  
作って行きたいです  
体育市民連帯と共に  
していただけますか？



## 01 ソウル経済 2022. 04. 15

## 引継ぎ委「学生選手欠席規制緩和…」エリート体育転換ではない



大統領職引継ぎ委員会が学生選手に対する学期中の平日大会参加禁止と関連して規制緩和を推進する。ただし、生活体育からエリート体育に転換するのではないと説明した。

引継ぎ委の金ジェヒョン副報道官は15日、スポーツ革新関連懸案のブリーフィングを通じて、△学生選手の出席認定、△欠席の許容日数を種目の特性によって自律的に認める再調整など

合理的な方策を検討していると明らかにした。出席が認められる欠席日数を勧告以前の水準である年間授業日数の3分の1の範囲である63～64日以内で自主的に認める案だ。

引継ぎ委の社会福祉文化分科は、保護者連帯代表や国家代表選手、学校運動部指導者、国家代表指導者代表、大韓体育会などの関係者に会って、教育現場の混乱と苦情などについて意見を聴取した後、このような方策について話し合った。

金副報道官は、尹ソクヨル政府が現政権と違ってエリート体育を強化するかどうかを問うと、「尹次期大統領も一方的に偏った体育現場になってはならないという方針だ」と否定した。さらに「エリート体育と生活体育をあまねく目配りする安定的でバランスの取れた方策を模索している」と付け加えた。

出典：<https://www.sedaily.com/NewsView/264PC8L13A>

## 02 スポーツ朝鮮 2022. 04. 15

## 体育公約「小学生スポーツ講師の拡大」の質的向上が必要だ



コロナ「おこもり」3年目、「大韓民国の未来」の子どもたちの体力低下が深刻だ。昨年、教育部の学生健康体力評価（PAPS）の結果、コロナパンデミック以前の2019年に比べて下位等級の4・5等級の割合が12.2%から17.7%に急騰した。身体活動は著しく減り、児童肥満は急増した。ソウル市教育庁の調査によると、ソウル小中高校生の過体重および肥満比率はコロナ以前の2019年26.7%から昨年32.1%へと大幅に増えた。子供たちの健康に赤信号がともって久しい。すでに12年前の2010年、韓国保健社会研究院が発表した小児、青少年肥満による社会経済的費用が1兆3638億

ウォンだった。2019年世界保健機関（WHO）の身体活動報告書によると、韓国青少年の94.2%が運動不足。大韓民国の青少年たちの身体活動水準は、経済協力開発機構（OECD）加盟国のうち最下位で、自殺率はOECD上位圏だ。子供たちが走り回らない国、子供たちが幸せでない国には未来がない。スポーツ朝鮮

は来月、尹ソクヨル政府発足を控え、「大韓民国の健康な未来」のため、これ以上先送りしてはならない百年大計、学校体育活性化のための提言を3回にわたって掲載する。

# 「コロナの影響で学生たちの基礎体力が崩れています。スポーツ講師、指導者に対する支援を拡大し、学校体育を正常化します。」

尹ソクヨル次期大統領が候補時代の1月25日、「体育人が望む」で発表した学校体育関連公約だ。「韓国もスポーツ先進国のように幼年時代からスポーツに親しむように環境を整えなければならない」と述べた。

# 2月13日、「ソクヨル氏の胸きゅん約束」39番目は「小学校の体育活動強化」だった。「小学生が放課後学校でスポーツ種目を一つずつ身につけ、楽しめるように1生徒1種目を推奨し、支援する」と約束した。「小学校のスポーツ関連プログラムが16%（19万3551校のうち3万1360校）に過ぎない。スポーツプログラムを運営していない小学校も多く、児童たちがスポーツに接し、身につけるのに足りないのが実情だ」と指摘した。

生活体育と専門体育の草の根、国民の健康に責任を負う学校体育の重要性はいくら強調しても過言ではない。「みんなのスポーツ」、一生を支配する運動習慣、スポーツ価値に対する正しい認識は学校で形成される。特に乳幼児、小学校時代の体育時間、スポーツ経験は一生を左右する。

尹次期大統領もこれをよく知っている。「放課後学校」による小学生1年生1種目、1～6年生まで段階別スポーツプログラムの開発、スポーツ講師の確保及び専門人材の配置支援など、「小学体育」の強化を主な公約として掲げた。現場では「放課後」だけでなく、国民健康の基本となる小学校正規体育時間の正常化、充実を求める声が高い。

大韓体育会の金テクチョン学校体育委員長（チャンドク女子高校首席教師）は根本的な解決策として、「小学校1-2年生の体育教科の独立と専門性のある小学校スポーツ講師の増員」を主張した。「小学校1-2年生の体育は依然として音楽、美術統合教育課程の『楽しい生活』に縛られている。肥満予防、運動習慣などのために必要な小学校低学年の体育活動を統合教育課程が防げている」とし、『『活気に満ちた生活』として体育教科が独立しなければならない』と主張した。金委員長は小学校体育授業の専門性確保のためのスポーツ講師の拡大も強調した。スポーツ講師は2008年、李明博政権時代に「小学校体育授業の正常化」のために導入された制度だ。体育専門講師が担任教師の責任の下、正規体育授業の週21時数を補助する。体育授業の質的向上を導くスポーツ講師に対する「需要者」学生の満足度は非常に高い。2020年文体部の調査結果、学生総合満足度は94.2点、講師の種目専門性に対する満足度は93.6点に達した。

林オギョン国会議員は「小学校スポーツ講師義務配置」を法制化する学校体育振興法改正案を発議した。現在、小学校スポーツ講師は1888人、全国6100あまりの小学校にスポーツ講師を義務付け、学校体育を活性化しようという趣旨だった。ところが、全国小学校教師労組の反発が激しかった。「スポーツ講師は初等教育資格者ではなく、体育教育を活性化するためには、初等教育専攻の体育専任教師を育成、配置しなければならない」という主張だ。小学校体育をめぐる教師とスポーツ講師の「縄張り争い」に飛び火する雰囲気だ。結局、本質は「子どもたちの体育の時間」だ。ひとまず、専門性を備えたスポーツ講師を拡大配置し充実した体育教育を提供する一方、長期的に教育大学から小学校体育教師を輩出するシステムを構築していこうという主張に弾みがつく。金テクチョン委員長も「教師の専門性が必要な部分を『助

っ人』体育専門指導者たちが支援することだ」とし「今すぐ体育専門教員がまともに養成されていないと先送りすれば、結局被害はそのまま韓国の子どもたちに回る」と話した。

スポーツ講師の数的拡大ほど重要なのは質的向上だ。月給180万～200万ウォン、1年契約職が大多数である彼らが業務に集中できる処遇改善とともに、多様な職務研修、周期的再教育を通じて専門性を持続的に高揚・強化していく制度の導入が急がれる。市道教育庁、学校別にまちまちではなく、全国のスポーツ講師らをまとめる体系的かつ専門化された力量強化や教育プログラムが必要だ。また、一定時間教育を履修したスポーツ講師の専門性を認める認証制度も検討に値する。日々変化する「スマート」の世界でスポーツ講師の情報力と専門力は、子どもたちの健康と幸福指数、学校体育の競争力と直結するからだ。

チョンラプクト・チョンウブ  
全羅北道井邑の小中学校で7年間スポーツ講師を務めている金ジンオさん(40)は、「子どもたちの体力向上、免疫強化、ストレス解消のためには体育時間の拡大が欠かせない」とし、「子どもたちが新たな挑戦ができる多様な種目、専門家招待講習会などを通じて多様なプログラムを導入できるシステムがあればいい」と現場の声を伝えた。釜山で働くチャン・サンヒョンスポーツ講師(47)は「マスクをしているため、子供たちは激しい運動ができない。健康心配症もひどくなった。少し走るとめまいがする」とし、保健室に行く子どもたちも多くなった」と現場で体感した生徒たちの体力低下に言及した。「子どもたちに1週間に運動で汗を流すのは何回かと聞くと、『一度もない』という子どもたちがほとんどだ。深刻だ」と述べた。

チャン講師はスポーツ講師の拡大について、「単なる数的、量的拡大は望んでいない。授業のクオリティを高められるスポーツ講師の質的向上を希望する」と述べた。「子どもたちの体育の時間はどんな教師、どんなスポーツ講師に会うかに左右される。特に小学校は単純遊び式のレクリエーション中心にだけ行われる場合が多いが、この時期にきちんと学んでこそ大人になってもスポーツを楽しむことができる。子どもの頃、楽しさを感じた運動経験がないと生活体育につながりにくい」と話した。また、「スポーツ講師がバスケットボールに比重を置けば、子どもたちはバスケットボールだけを学ぶ。多様な種目に接しにくい。サッカーが上手な子がいて、陸上が上手な子がいる。多様な種目とプログラムを学び、接する機会がもっと必要だ」と付け加えた。

現在、大統領職引継ぎ委員会(引継ぎ委)は国政課題を選定中だ。体育界の関係者は、「尹次期大統領が候補時代、『スポーツは福祉』と強調してきたように、現在、体育公約も深く検討していると聞いている」とし、「スポーツ革新委員会勧告案はもちろん、選手や指導者に対する処遇改善、スポーツ産業はもとより、小学校スポーツ講師、1人1種目など、当選人の全ての学校体育関連公約を細かくチェックしている」と明らかにした。

出典：<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202204160100123280007923&servicedate=20220415>

### 03 ニューシス 2022.04.15

#### 光州体育会スポーツ科学研究所、体育人遺伝子分析・活用

光州体育会スポーツ科学研究所が科学的訓練支援のため、地域を代表する体育人の遺伝子を分析する。



光州体育会は15日、地域体育発展のための「スポーツ遺伝子（DNA）支援事業」を開始すると発表した。

スポーツ遺伝子支援事業は陸上の金グクヨンなど地域を代表する体育人の遺伝子23個を確保して分析する。

また、新人選手の発掘と体の状態に合わせたトレーニング法の開発などの基礎資料として活用し、負傷選手の回復に向けたプログラムも用意する。

今回の事業は、<sup>チョンナム</sup>全南---大学医学部生理学教室と協業して推進される。

光州体育会の関係者は「スポーツ科学研究所は遺伝子確保のため光州体育高等学校などと業務協約を締結した」とし「地域体育発展の基礎資料になるものと期待している」と明らかにした。

出典：[https://newsis.com/view/?id=NISX20220415\\_0001834984&cID=10501&pID=10500](https://newsis.com/view/?id=NISX20220415_0001834984&cID=10501&pID=10500)

## 04 ニュース 2022. 04. 14

### 体育記者連盟「新政府スポーツ政策セミナー」18日開催



韓国体育記者連盟（梁ジョング会長）が体育政策の改善方向を点検し、新政府の課題について考える時間を設ける。

韓国体育記者連盟は今年18日午後2時30分、ソウル韓国プレスセンター19階の記者会見場で「韓国スポーツの未来と新政府の課題」と題したセミナーを開く。

政府とスポーツ関連機関や協力団体、学界、韓国体育記者連盟所属の記者など100人あまりがセミナーに参加する予定だ。

今回のセミナーでは、3人の発題者が現在の体育政策を診断し、今後進む方向を提示する。

▲<sup>サンミョン</sup>尚明大学スポーツICT融合学科の柳サンゴン教授 ▲<sup>インヘ</sup>仁荷大学芸術体育学部の朴ドンホ教授 ▲SBSの権ジョンオスポーツ取材部前任記者が発題者として出る。

3人は発題を終えた後、国民大学校スポーツ産業レジャー学科のチョウクヨン教授の進行で質疑および討議の時間を持つ。

「韓国スポーツの未来と新政府の課題」セミナーは韓国体育記者連盟が主催し、韓国記者協会、文化体育観光部、国民体育振興公団が後援する。

梁ジョング会長は「今回のセミナーは体育科教授など学界の関係者とスポーツニュースを報道する体育記者と一緒に韓国体育の未来について考える場であり、5月に発足する新政府に韓国スポーツが進むべき方向を提示する場でもある」とし「連盟は新政府発足後も持続的にセミナーを開催し、韓国体育を健全に発展させる具体的な方法と創意的なアイデアを提供する先頭に立つ」と話した。

出展：[https://newsis.com/view/?id=NISX20220414\\_0001833931&cID=10501&pID=10500](https://newsis.com/view/?id=NISX20220414_0001833931&cID=10501&pID=10500)

## 05 聯合ニュース 2022. 04. 15

### 「チキンとビールで叫べ！」…25日から室内体育施設で飲食可能



25日から映画館、室内体育、宗教など多重利用施設で飲食物摂取禁止措置が解除され、国内プロスポーツ競技場の観戦文化にも変化が予想される。

政府は15日、政府ソウル庁舎でコロナ19中央災難安全対策本部会議を開き、新型コロナウイルス感染症（コロナ19）による社会的距離置き18日から全面解除することにした。

さらに、映画館、室内体育施設、宗教施設など室内多重利用施設での飲食物摂取禁止措置も25日から解除される。

これまで室内体育施設で食べ物の摂取が禁止され、プロ野球の場合、高尺ドームだけ競技場内で食べ物を食べるができなかった。

また、冬季の室内スポーツであるバスケットボールやバレーボールも室内で飲食物の摂取が禁止されてきた。

しかし、今回の措置でプロ野球の場合、全競技場で飲食が可能になり、プレーオフが進行中のプロバスケットボール場でも飲食物を食べながら応援できるようになった。

韓国野球委員会（KBO）の関係者は、「防疫当局の室内競技場での飲食許容を歓迎する」とし、「室内競技場という理由で、高尺ドームだけ飲食できない状況に、野球ファンの不満が多かった」と明らかにした。

KBO側は、「新型コロナウイルス感染症（コロナ19）のため、ファンが主に自宅でテレビで試合を観戦してきた慣性が当分続くものとみられ、爆発的な観衆増加は期待できないが、高尺ドームでも『チメク（訳注：チキンとビール）』ができる部分は歓迎すべき措置だ」と歓迎した。

20日から4強プレーオフを始めるKBLは来週、競技場内での飲食および育成応援に関する内容を確定する予定だ。

KBL関係者は、「これまでコロナ19防疫関連は、各球団が本拠地の地方自治体と協議し、観衆の受け入れ規模などを自主的に決めてきた」とし、「今回もKBLがガイドラインを提示すれば、各球団が地方自治体と協議し、室内での飲食や育成応援などを認めるかどうかを決めるものと予想した。

2021-22シーズンのプロバスケットボールベスト4プレーオフには、ソウルSK-高陽オリオン、水原kt-安養KGC人蔘公社など首都圏チームだけが進出した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220415065900007?did=1195m>

## 06 週刊スポーツニュース

国民体育振興公団、ソーシャルビッグデータ動向分析情報誌を発刊

<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=517503>

傷痍軍人体育大会、今日開幕… アーチェリー初メダル挑戦

<https://view.asiae.co.kr/article/2022041706431209574>

コロナで延期された京畿道総合体育大会、8月に確定

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220412\\_0001830201&cID=14001&pID=14000](https://newsis.com/view/?id=NISX20220412_0001830201&cID=14001&pID=14000)

体育振興公団、公共機関の安全活動水準評価書の最高等級

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220414\\_0001833696&cID=10501&pID=10500](https://newsis.com/view/?id=NISX20220414_0001833696&cID=10501&pID=10500)

玉川多目的体育センター、来年起工、2025 年竣工

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220414048800064?did=1195m>

浦項市体育会、海洋レポーツ集中育成 8 校選定

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220414\\_0001833422&cID=10810&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20220414_0001833422&cID=10810&pID=10800)

光州市体育会、体育人就職支援事業に着手

<https://view.asiae.co.kr/article/2022041517203068698>

体育会-障害者体育会、国家代表訓練支援制度改善協力体系の構築

<https://www.newsl.kr/articles/?4646770>

仁川市、全国初の公共体育施設基盤スポーツ創業支援

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220412\\_0001830351&cID=10802&pID=14000](https://newsis.com/view/?id=NISX20220412_0001830351&cID=10802&pID=14000)

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>